

公益財団法人仁科記念財団
令和3年度（2021年度）事業報告書

仁科記念財団は、故仁科芳雄博士のわが国及び世界の学術文化に対する功績を記念し、定款第4条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において次の公益目的事業を行う。(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成。

1. 令和3年度（2021年度）に行った公益目的事業

(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与

■第67回仁科記念賞

仁科記念賞は、原子物理学およびその応用に関して傑出した業績をあげた日本の研究者に授けられる賞で、当財団創設の昭和30年（1955年）以来、毎年数名の研究者に授与されてきた。

これまでの受賞者の総数は197名（本年度の4名を含む）となり、その中からは国内外での著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者6名（江崎玲於奈氏、小林誠氏、益川敏英氏、小柴昌俊氏、中村修二氏、梶田隆章氏）、文化勲章受章者14名、文化功労者21名（2021年度秋の叙勲で2003年受賞者の鈴木厚人氏が顕彰された）、恩賜賞受賞者9名、日本学士院賞受賞者30名となっている。

仁科記念賞規程では、① 6月1日から8月31日の3ヶ月間、当財団ホームページ(HP)、日本物理学会誌、応用物理学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は3件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と1件当たり60万円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の12月6日にこれまでの受賞者を含めた研究交流の懇談会の場で行うとしている。

本年度第67回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他14名）は、今年度推薦のあった25件の候補についてオンライン会議で慎重に審議したのち、次の3件（4名）に授与することに決定した。

1) 業績題目：「スピン誘起マルチフェロイクスの発見と開拓」

受賞者：有馬孝尚

東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授

理化学研究所創発物性科学研究センター・強相関量子構造研究チームリーダー

受賞者：木村 剛

東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授

2) 業績題目：「サブ PeV ガンマ線天文学の創始と銀河宇宙線の起源の解明」

受賞者：瀧田正人

東京大学宇宙線研究所・教授

3) 業績題目：「すばる望遠鏡広視野カメラの開発による観測的宇宙論の展開」

受賞者：宮崎 聡

自然科学研究機構 国立天文台 先端技術センター・教授

この結果は令和 3 年 10 月 22 日に開催された第 37 回理事会（オンライン会議）で承認され、11 月 9 日にオンラインにて新聞発表を行った。

本年度の授賞式は 12 月 6 日に、受賞者 4 名と、理事長、常務理事、選考委員長が参加してオンラインで執り行われた。受賞記事は、当財団 HP に加えて、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin にも公開された。

■第 9 回 Nishina Asia Award (仁科アジア賞)

当財団は、平成 24 年度 (2012 年度) に Nishina Asia Award (仁科アジア賞) を創設した。

Nishina Asia Award は、アジアに研究基盤を置いて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者 (学位取得後 15 年以内) 1 名に授与される。受賞者には、賞状と賞牌および賞金 40 万円を仁科記念賞授賞式場で贈呈し、さらに授賞式の前後約 1 週間、わが国の研究者との研究交流を助成する。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会 (佐々木節委員長他 11 名) で行い、選考結果は理事長の承認を得て 9 月初旬には受賞者に通知される。

第 9 回となる 2021 年 Nishina Asia Award の候補者募集要項を令和 3 年 (2021 年) 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団 HP に掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、18 件の推薦があった。

選考委員会がオンライン会議で慎重に選考した結果、

中国籍の YAO, Wang 氏 (Chair Professor, Department of Physics, The University of Hong Kong, Hong Kong SAR, China) に "for his pioneering contributions to valleytronics

in two-dimensional semiconductors and van der Waals heterostructures”の業績に対し授賞することに決定した。

受賞記事は、本財団 HP と AAPPS の Bulletin に公開された。本年度は新型コロナ禍で招聘できないため、YAO 氏に、賞金を送金し、賞状と賞牌を郵送した。新型コロナ禍が終息し次第、セミナーのために招聘することになっている。

第 10 回 2022 年 Nishina Asia Award は、令和 4 年（2022 年）1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団 HP に候補者募集要項を掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、25 件の推薦があった。

(2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催

■第 67 回定例仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に基礎物理学とその応用の真髄を会得していただくため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

本年度は、以下のように第 67 回定例仁科記念講演会「ニュートリノ物理学と宇宙」がオンライン（YouTube）でライブ配信された。

日 時：令和 3 年 12 月 5 日（日）15:00～17:30

主 催：公益財団法人仁科記念財団

共 催：国立大学法人東京大学宇宙線研究所

後 援：公益社団法人日本アイソトープ協会

（プログラム）

挨 拶：小林 誠 仁科記念財団理事長

司 会：中畑雅行 東京大学宇宙線研究所 教授

講 演：「日本のニュートリノ研究のこれまで」

梶田隆章 東京大学特別荣誉教授 宇宙線研究所 所長

講 演：「ニュートリノ振動と CP 対称性の破れ」

市川温子 東北大学大学院 理学研究科 教授

講 演：「ニュートリノで探る高エネルギー宇宙」

石原安野 千葉大学大学院理学研究院 教授

参加者：150 名超

当財団 HP にて「講演録画」を公開している。

(3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営

仁科芳雄博士の執務室（通称「仁科記念室」）に保存されていた史料の理化学研究所への移管が完了したことを踏まえ、それらの整理を理研史料室と共同で行うとともに当財団 HP の「仁科芳雄デジタル記念館」での公開を進めている。

2021年8月7日23:00~24:00にNHKがETVで特集「日本の原爆開発～未公開書簡が明かす仁科芳雄の軌跡～」を放映した。番組で使用された未公開書簡は、現在は、当財団 HP に公開している。

(4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

本年度も、仁科記念講演会の講演録とその講演録画とともに、当財団がこれまで刊行してきた雑誌等を電子化して HP の「出版および史料研究調査」に順次公開してきた。

刊行物としては、例年通り、2021年版仁科記念財団案内（2021年6月）を刊行した。これまでの財団案内は、すべて HP で閲覧、ダウンロードできる。

(5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

本年度は、新型コロナ禍のために Nishina Asia Award 受賞者を招聘できなかった。

2. 賛助会員および特別寄附

- 本年度の賛助会員数は6法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キックマン株式会社、住友化学株式会社、住友重機械工業株式会社、公益財団法人本田財団）、1個人。
- 公益社団法人日本アイソトープ協会から昨年度に続き特別寄附金を頂戴し、用途を公益目的事業に限る「特定資産」に繰り込んだ。
- 公益財団法人科学振興仁科財団（岡山県里庄町）から昨年度に続き特別寄附金を頂戴し、「特定資産」に繰り込んだ。

3. 物故

- 2021年9月16日、元理事 仁科雄一郎氏が逝去された。享年91歳。
- 2022年3月11日、元助言委員 近藤淳氏が逝去された。享年92歳。

4. 会議

本年度開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。新型コロナ禍のためすべてオンライン会議となった。なお、評議員会と理事会の議事録は、HP に公示している。

(1) 評議員会

1) 第11回（定時）

日時：令和3年6月11日 13:00~14:00

出席評議員：秋光純、有本建男、江澤洋、京藤倫久、九後太一、郷通子、斎藤軍治、
佐藤勝彦、高橋真理子、山田作衛（会長）

欠席評議員：吉田庄一郎

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事（オブザーバー）

議事：①令和2年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。②新理事、監事、
および会計監査人として、安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、梶田隆章、小林誠、
佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重理事を重任、上叢義朋公
益社団法人日本アイソトープ協会常務理事を新任、荒船次郎、鈴木増雄監事を
重任、宮田芳直会計監査人を重任とする案が承認された。

2) 臨時

日時：令和3年6月12日（評議員全員の書面または電磁的記録による同意の意思
表示で決議された）

出席評議員：秋光純、有本建男、江澤洋、京藤倫久、九後太一、郷通子、斎藤軍治、
佐藤勝彦、高橋真理子、山田作衛（会長）吉田庄一郎

議事：①理事会より提案があった、矢野安重常務理事の「仁科記念室移転事業」の業
務終了に伴う、役員報酬規程別表第1項の（旧）年2,400千円から（新）年
1,200千円への改定について、全評議員から同意する旨回答を得たので承認さ
れた。施行日は令和3年8月1日とした。

(2) 理事会

1) 第35回

日時：令和3年5月21日 17:30~18:30

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、梶田隆章、勝村庸介、小林誠、佐々木節、
十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

報告：議案審議に先立って、理事長より「2019年度決算書において、故伊藤早苗氏
の遺贈寄附金5千万円については経常外収益として会計処理をしていたが、内
閣府の要請により『指定正味財産』の『受取寄附金』として『特定資産』の部
に組み入れることにした。」との報告があった。

議事：①令和2年度事業報告書案および決算書案の説明があり、原案を第11回定時
評議員会に諮ることが承認された②新理事として、安藤恒也、家泰弘、伊藤公
孝、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重
理事を重任、上叢義朋公益社団法人日本アイソトープ協会常務理事を新任、監
事として、荒船次郎、鈴木増雄監事を重任、会計監査人として宮田芳直氏を重

任として、第 11 回定時評議員会に諮る案が承認された。③第 11 回定時評議員会を令和 3 年 6 月 11 日 13:00 より WEB 会議として開催することとした。尚、議案は、1) 令和 2 年度事業報告書案および決算書案の承認、2) 新理事、監事、会計監査人の選任、の 2 件、とした

2) 第 36 回

日時：令和 3 年 6 月 11 日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、永宮正治、藤川和男、矢野安重

欠席理事：伊藤公孝、十倉好紀

出席監事：荒船次郎

欠席監事：鈴木増雄

議事：①小林誠理事を代表理事（理事長）とし、家泰弘理事、藤川和男理事、矢野安重理事を業務執行理事（常務理事）とした。②矢野安重常務理事を常勤とし、理事長に事故あるときまたは理事長が欠けたときには、評議員会および理事会招集ならびに理事会議長の職務を代行することとした。③矢野安重常務理事の「仁科記念室」移転業務が終了したことに伴い、役員報酬規程の別表第 1 項を（旧）年 2,400 千円から（新）年 1,200 千円に改めることとした。④運営諮問委員として磯暁、櫻井博儀、永長直人、須藤靖、初田哲男、早野龍五前運営諮問委員を重任とし、早野龍五運営諮問委員を委員長とした。⑤顧問として江崎玲於奈、野依良治、益川敏英前顧問、また、助言委員として、西村純、秋元勇己、飯島澄男、岩田末虞、延興秀人、岡本拓司、鹿島昭一、勝又紘一、川畑有郷、岸輝雄、木舟正、小林俊一、三田一郎、斯波弘行、壽榮松宏仁、菅原寛孝、杉本大一郎、土屋莊次、中井浩二、並木雅俊、野本憲一、橋本英二、原康夫、堀内題、政池明、宮本健郎、茂木友三郎、矢崎紘一、矢崎裕二、和田昭允、前助言委員を重任とし、西村純助言委員を委員長とした。⑥西村純、宮沢弘成、山崎敏光、前客員運営諮問委員を重任とした。

3) 第 37 回

日時：令和 3 年 10 月 22 日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

欠席理事：佐々木節

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

出席仁科記念賞選考委員：安藤恒也委員長

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 3 年度仁科記念賞受賞者が選考委員会提案通り承認された。

4) 第 38 回

日時：令和 4 年 3 月 18 日 17:30~18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度下半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 4 年度（2022 年度）事業計画書および収支予算書案を承認した。②2022 年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を 815 万円取り崩すことを承認した。③次期仁科記念賞選考委員として、安藤恒也委員長ほか 9 名を重任とし、新たに 5 名を選任した。④小林理事長より「2022 年度に借り入れおよび設備投資の予定はない」旨報告があり了承された。

(3) 仁科記念賞選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 3 年 9 月 24 日 17:00~21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第 2 回

日時：令和 3 年 10 月 18 日 17:00~21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題；①令和 3 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) Nishina Asia Award 選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 3 年 5 月 25 日 17:00~20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第2回

日時：令和3年7月16日 17:00~20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題：①第9回2021年Nishina Asia Award受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：令和3年4月23日(金) 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、櫻井博儀、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、梶田隆章、勝村庸介、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、江澤洋、西村純、山田作衛

議題：①2020年度事業報告書および決算書(案)について②2021年度仁科記念講演会について。

2) 第2回

日時：令和3年5月21日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、梶田隆章、勝村庸介、佐々木節、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、江澤洋、西村純、山田作衛

議題：①令和3年度定例仁科記念講演会の開催について②令和3年度仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式および懇親会の開催について③仁科記念財団編纂「原子爆弾広島・長崎の写真と記録」のHPでの公開について

3) 第3回

日時：令和3年6月25日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、江澤洋、西村純、山崎敏光、山田作衛

議題：①令和3年度定例仁科記念講演会の開催について②令和3年度仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式および懇親会の開催について③仁科記念賞候補推薦者の増員について（日本応用物理学会のHPに募集記事を掲載済み）④NAA受賞者の国内講演旅行期間の短縮について（2週間を1週間に短縮してはいかが）⑤仁科芳雄博士のリアルとデジタル記念館構想について（理研のリアル記念館構想：櫻井と財団のデジタル記念館構想：矢野）

4) 第4回

日時：令和3年9月9日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、上叢義朋、佐々木節、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：山田作衛

議題：①令和3年度定例仁科記念講演会の開催について：1) いろいろ開催案内を配信するか2) 配信方法は②令和3年度仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式および懇親会の開催について：再度検討。（12月6日の科研製薬「仁科倶楽部」と東洋文庫オリエントカフェの貸し切りを仮予約済み）③建設中の「仁科芳雄デジタル記念館」の紹介（矢野）

5) 第5回

日時：令和3年10月22日 18:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：西村純、山田作衛

議題：①仁科記念賞授賞式および懇親会の開催について②仁科記念講演会の開催案内について：案内の配信方法は③仁科記念賞「応募要項」の見直し(?)について④財団運営の合理化案についてのご相談の始まり

6) 第6回

日時：令和3年12月17日 17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

議題：①仁科記念賞授賞式の録画の取り扱いについて②来年度の仁科記念賞選考委員について

7) 第7回

日時：令和4年1月21日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、山田作衛

議題：①仁科記念賞の新選考委員（任期：2022年4月～2024年3月）候補について
②事業経費の縮減について：1）授賞式（科研製薬「仁科倶楽部」：旧理研2号館）と懇親会（グリーンコートカフェテリア：旧理研3号館：最初の仁科研究室の場所） 2）仁科記念賞賞牌 3）NAA 受賞者の滞日期間（2週間→1週間）③財団事務所の和光理研への移転の是非④賛助会員入会のお願いなど⑤財団設立「70周年記念」（2025年開催）事業

8) 第8回

日時：令和4年2月21日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上叢義朋、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：西村純、山田作衛

議題：①来年度予算編成と来年度以降の事業計画の見直しについて

9) 第9回

日時：令和4年3月18日 18:00～19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、家泰弘、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上叢義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

議題：①2022年度定例仁科記念講演会について②今後の予定について